

<同窓会周年行事> 紫友105周年パーティ 運営構想案

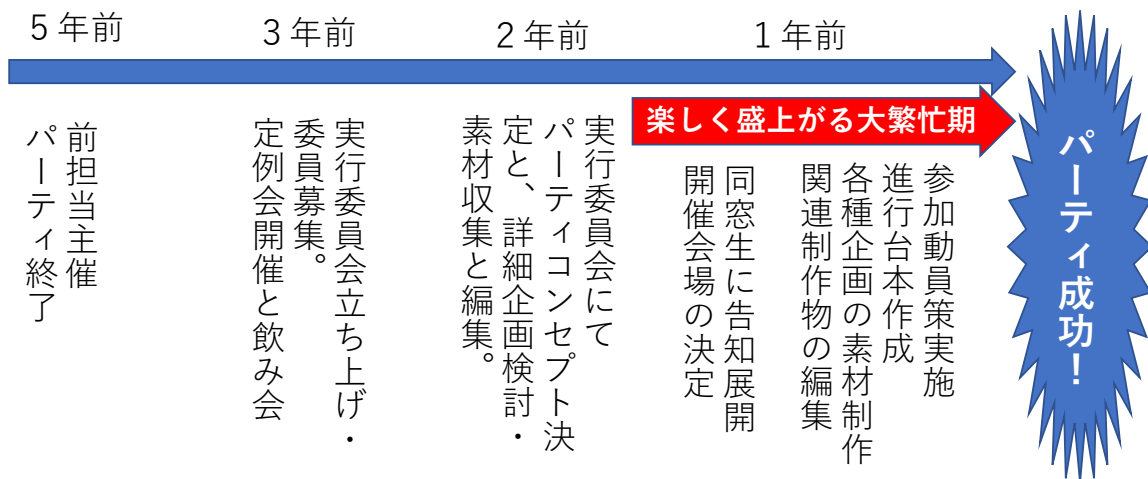
2020年8月25日
紫友同窓会 会長(交流局長兼務)
戸叶 司武郎

◆100周年までのパーティ運営担当年代

80周年	85周年	90周年	95周年	100周年	105周年
1998年 5月24日	2003年 5月25日	2008年 10月19日	2013年 11月3日	2018年 10月28日	2023年
卒業生の 創作展	小石川賞と 伊藤長七研究	音楽で綴る 小石川	小石川の お誕生会	百年に1度に 立合える奇跡	未定
011～ 015	016～ 020	021～ 025	026～ 030	031～ 035	混成チーム+ 036～040有志
54～58歳	54～58歳	54～58歳	54～58歳	54～58歳	全年代から参加 のPj.チーム
現在の校舎 (約600名)	現在の校舎 (約1,000名)	東京會館 (約600名)	ANAインターコ ンチネンタル東京 (約500名)	京王プラザ ホテル (約800名)	未定

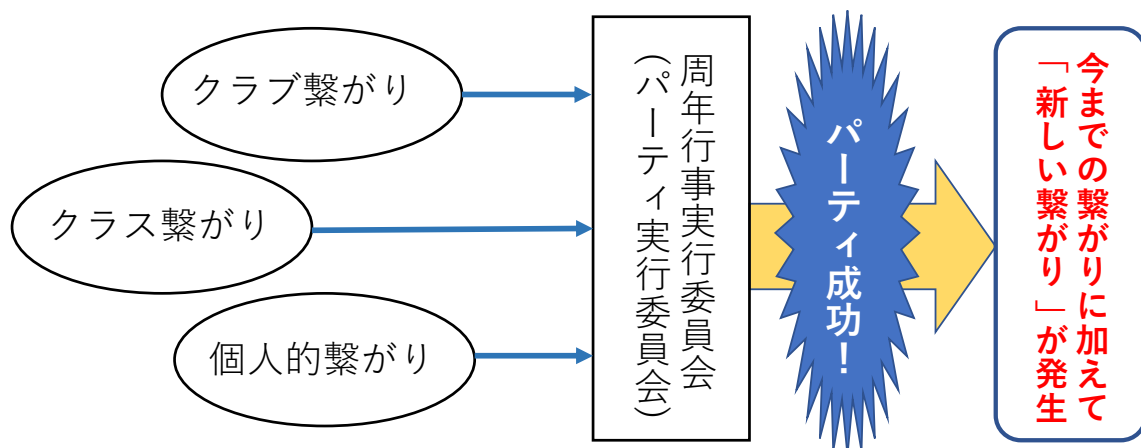
- ・80周年は五周年の運営担当を5学年単位に区切った最初の回
- ・各Partyとも、54歳から58歳までが運営幹事年代
- ・高齢化社会、会社員の65歳定年制への流れに伴い、50代中盤から終盤世代はリタイア準備ではなく現役世代となった。

◆100周年までのパーティ実行委員会の流れ



- ・ 前回パーティ開催の2年後ぐらいに実行委員会を立ち上げ、途中でトラブルや空中分解やメンバー交代を乗り越えて、本番を成功させた後、趣味のサークル活動等に分散展開していく。
- ・ 次世代から数名が実行委員会に参加し、次回のパーティを企画展開する為の中心メンバーとなっていく。
- ・ パーティの開催に並行して記念品や記念冊子なども制作することが多い。

◆100周年までの盛り上がりかた



- ・ 過去の運営担当委員は、パーティ実行委員会立ち上げまでは、クラスやクラブ繋がりを中心。
- ・ パーティ開催の後、横・縦の新たな繋がりが生じ、紫友まちあるき会や音楽バンド等々の組織・グループが立ち上がった。
- ・ 新たな交流組織・グループに楽しさを感じて知り合いの同窓生が参加し、さらに横・縦が広がっている。

◆105周年だけ特別な形で運営

◎105周年だけ、従来と異なる方式

→運営担当学年を設定しない
(105周年担当世代を110周年にスキップ)

◎大会場にこだわらない

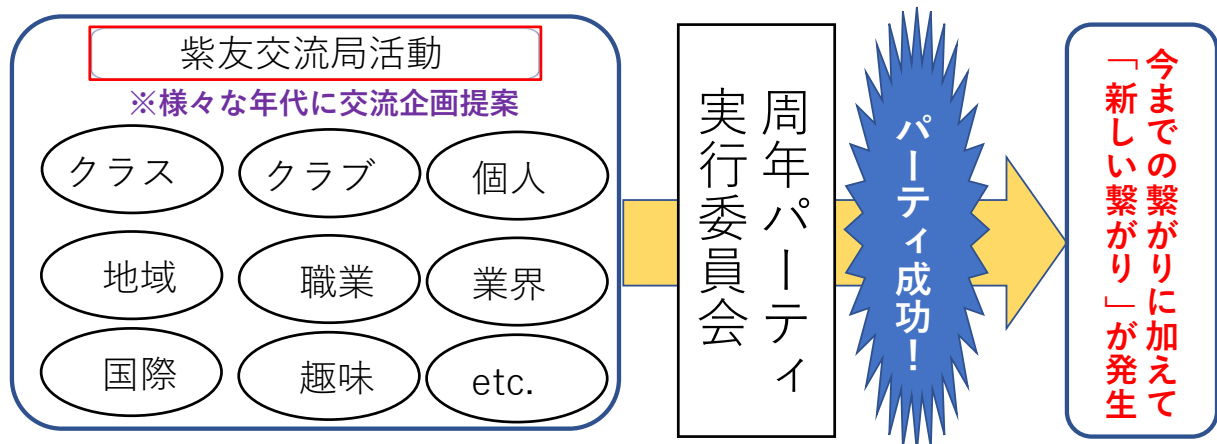
→小会場を分散連携して一体感を醸成

◎110周年からは従来通り

→実行委員会の自由な発想で企画運営

- 同窓生は会社員／公務員がとて多く平均寿命の高齢化と年金支給開始年齢が65歳となり、担当年代である54歳～58歳はバリバリの現役世代となってしまった。パーティの企画運営に参加して大いに苦勞して楽しんでもらう為に、59歳～63歳に担当世代をシフトする。
- 担当年代を移行する為に、105周年パーティだけ全世代から委員を募って036-040有志と一緒にプロジェクトチームを結成して運営する。
- 110周年は担当世代(036～040)に全てを任せ、以降も同様とする

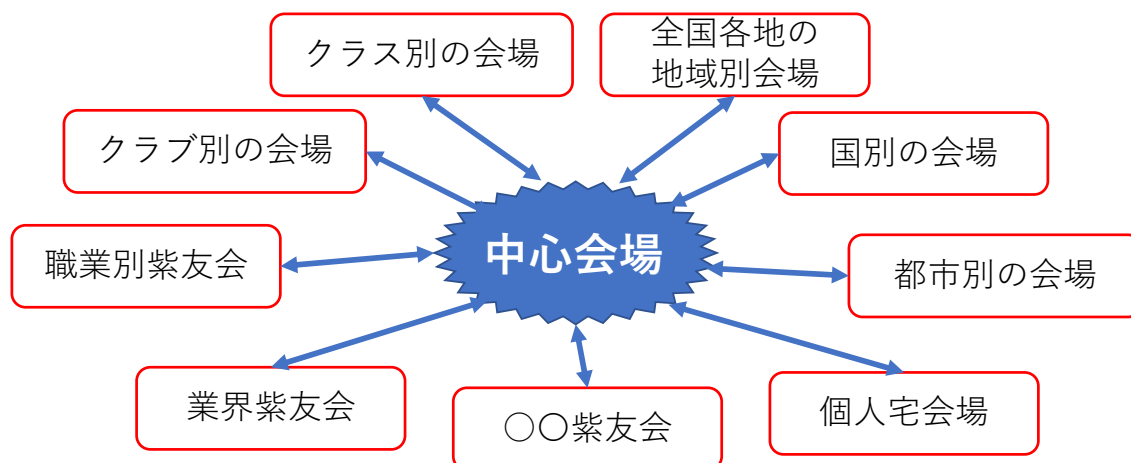
◆110周年以降に目指す盛り上がりかた



- 様々な年代に向けて企画提案している交流局の「人の集まり」に早くから参加し、クラス/クラブ以外の多様な交流と同窓会人脈を蓄積した上で、周年パーティ実行委員会に参加・参画。
- そのエポックメイキングとしての周年パーティには、余裕のできる60代から参画し企画運営を全力で楽しんで欲しい。その課程で小石川の仲間をさらに増やして、「小石川を卒業してよかった」を実感し人生100年の楽しい後半を迎えて欲しい(同窓会への支援と貢献意識の高い同窓生になって欲しい)。

◆105周年企画(ざっくり案1)

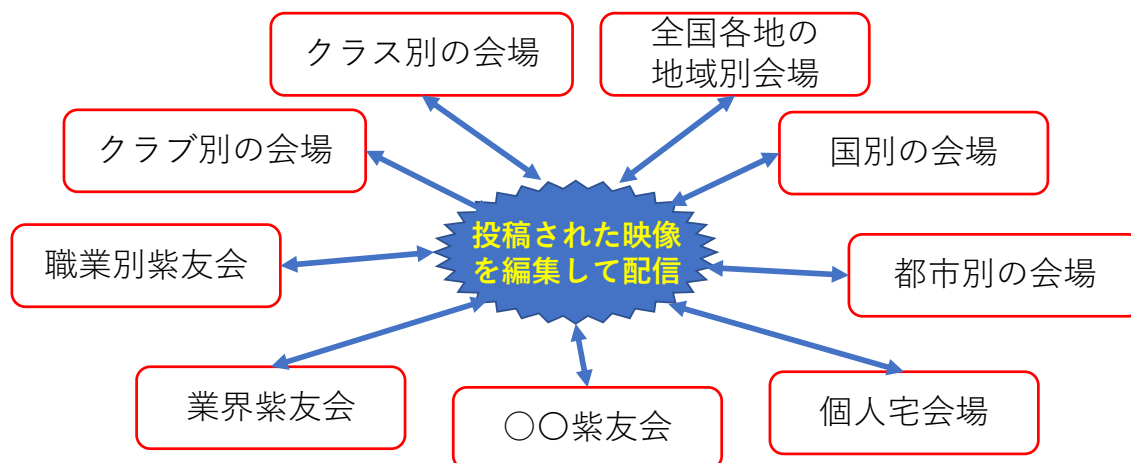
※漠然とした案なので、今後いかように変更してもかまわない



- 中心会場：総会的なセレモニーを希望する会員に向けて、着席のパーティを開催する。
- サテライト会場：会場運営者の自由な発想で開催。各会場には連絡員(特派員)必ず1名以上を設置し、中心会場との連携を保つ。

◆105周年企画(ざっくり案2)

※漠然とした案なので、今後いかように変更してもかまわない



- 映像配信：期間中に開催した会の映像や文章を事前に投稿してもらい編集して映像コンテンツとして配信する。
- サテライト会場：会場は映像が受信再生できるようにし、運営者の自由な発想で期間中に開催。各会場には連絡員(特派員)必ず1名以上を設置し、取材する。

◆105周年パーティを成功に向けて

105周年企画について 皆様のご意見を お待ちしております。

問合せ先：紫友交流室
k100kouryusitu@gmail.com

